

語り合う会 in 愛知

京都市日本語初期集中指導教室「わかば」の事例から

子どもの日本語教育研究会では、多様な言語文化背景をもつ子どもたちを対象とする日本語教育・学校教育・地域支援の実践と研究の相互交流を図り、その現場の成長と関連領域の研究の発展を促進することを目指しています。

このシリーズでは、実践から学び、新たな実践・研究につなげていくために、実践者が何をどのように伝えようとしたのか、それは多様な立場の受け手にどう伝わっているのか、実践者・受け手はそれぞれどのような視点をもってその実践を見ているのかを対話の中で再確認することにより、その「実践の意味」をより深く考えていきたいと思えます。

今回は、京都市の初期集中指導教室の実践をもとに、ディスカッションを通して初期指導教室の意義と課題を探ります。京都の事例を自分の現場でどう生かすか、語り合うことを通して一緒に考えていきましょう。関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

- 日 時: 2024年12月14日(土) 13:00-16:00
- 会 場: 愛知教育大学 教育未来館3C
<https://www.aichi-edu.ac.jp/access/>
- 参加費: 500円(資料代含む)
- 定 員: 40名



プログラム

- 13:00~13:10 開会・趣旨説明
- 13:10~13:50 実践報告
「京都市日本語初期集中指導教室「わかば」の背景・実践・課題」
堀太一郎(京都市立凌風小中学校)
大菅佐妃子(京都市教育委員会)
- 14:00~15:30 ディスカッション
グループディスカッション、質疑、全体協議
- 15:30~15:50 振り返り
- 15:50~16:00 閉会

お申込み

こくちーずよりお申込みください

<https://kokoc.jp/e/20c25220c0a02134ba72fbad1f4e0231/>

● お申込受付: 10月14日(月)~12月1日(日)



お問い合わせ

子どもの日本語教育研究会 「語り合う会 in 愛知」 担当:菅原
masaes(@)aecc.aichi-edu.ac.jp ()を外してご使用ください

後援:国立大学法人愛知教育大学